

対馬におけるアオバセセリ第3化の記録

境 良朗

アオバセセリ *Choaspes benjaminii japonica* (Murray, 1875)の化性については、標準図鑑によれば、「通常年2化(5~6月、7~8月)で九州の暖地では秋季10月ごろに第3化と推定される個体が見られる」とある。

対馬の本種の第3化について言及した報文には次の2編がある。

- 1) 「…4月下旬より第1化のものが発生し、7~8月、9月にそれぞれ第2化、第3化のものが発生するものと考えられる」とあるが、第3化の具体的な記録は報文中には見られない。(浦田, 1977)
- 2) 「5上(3)→6中(17)、7上(7)→8下→9下 3回」とし、第3化の記録「76. 9. 23有明山 1ex.目 Y. Sakai」が唯一のものである。(江島・境, 1978)



ブッドレアで吸蜜する第3化の個体

このことから、対馬において第3化はごく一部の発生で、個体数はかなり少ないと思われる。筆者も2)の記録以後、わずか2記録を追加しただけである。

- ・1ex., 19-IX-2015, 対馬市厳原町久田 ブッドレアで吸蜜する新鮮な個体(写真)
- ・1ex., 20-IX-2018, 対馬市厳原町久田 ブッドレア吸蜜

本種は第1化がエゴノキやナワシログミ、トベラなどで吸蜜する姿をよく見たが、近年急激に減少してしまった。

引用文献

- 白水 隆, 2006. 日本産蝶類標準図鑑: 296. 学研, 東京.
浦田明夫, 1977. 壱岐・対馬の蝶の分布と生活. 壱岐の生物, 375-407. 長崎県生物学会
江島正郎・境 良朗, 1978. 対馬産蝶類の発生期. Canidia, (3): 88-96